

リメイクフロア 施工説明書

事前に本説明書を必ずよく読み、
手順通りに正しく貼り付けてください。

梱包内容

製品サイズ：3×150×914.4mm

入 り 数：24枚/ケース（約3.29㎡）

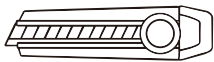
本製品は、一般住宅向けに既存床の上から接着剤を使って貼り付けるタイプの内装材です。

貼り付けができる 床面

○ 貼り付け出来る下地 → モルタル・コンクリート・木質系床材・クッションフロア・ビニル床タイル等

× 貼り付け出来ない下地 → 畳、カーペット等の柔らかい素材、クッション性の高い下地等

貼り付ける際に必要な道具



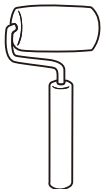
カッターナイフ



メジャー



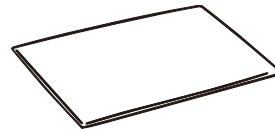
定規



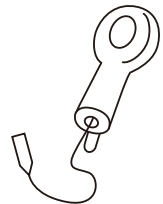
床材用圧着ローラー



指定接着剤&専用くし目ごて



カッティングボード



墨壺

1 安全上のご注意

本製品を安全に使えるように、以下を必ず守ってください。



注意

⓪ 以下の場所には施工をしないでください

既存の床面に十分接着せず、浮き上がりや段差が生じた場合、つまづいてけがをするおそれがあります。

段差 (0.5mmを越えるもの)	表面に損傷のある床面	不陸 (表面が波打って見えるような床)	畳、カーペットなど 柔らかい素材	凹凸がある床面
---------------------	------------	------------------------	---------------------	---------

⓪ 本製品は一般住宅用ですので土足での使用は避けてください

⓪ 本製品の施工を5℃以下では行わないでください（望ましくは15～25℃）

2 使用にあたってのご注意

○電気(ホット)カーペットを使用しないでください

使用すると、目地隙、剥がれ、膨れ、突き上げ、変色などの原因になります。又、温風ヒーターをご使用の際は、風を直接あてないでください。

○キャスターの使用はしないでください

キャスター付きイスおよび家具を使用しても破損したり表面にへこみ・傷が生じにくい製品ですが、付かないということではありません。特に金属製や球形状のキャスターは表面を傷めやすいのでご注意ください。

○施工後に重量物を本製品に置く場合

脚部にインシュレーターや小さな板などを敷き荷重を分散させてください(目安4kg/cm²以下)。
※敷板の目安としては、アップライトピアノ約5cm角以上、グランドピアノ約6cm以上。
移動させる場合は、引きずらないでください。

○テーブル、イス等の家具の脚について

テーブル、イス等の家具の脚などの局所荷重により、へこみ跡が付く場合があります。引きずると、床材表面を損傷する恐れがあります。ゴムキャップは、種類により色移りすることがあります。色移りすると取れませんのでご注意ください。

○水のかかる場所で使用する場合は、必ず足拭きマットをご使用ください

キッチンや洗面所、脱衣所など常に水のかかる場所については滑りやすくなり危険です。

○長時間直射日光が当たる場所では、カーテン・ブラインドで日よけしてください

長時間直射日光が当たる場所では、変退色が早くなります。

○強い作用を持つ洗剤、漂白剤などは使用しないでください

強い作用を持つ洗剤、漂白剤などの化学物質や、マジックインキや毛染め剤などの汚染物質及びゴム製品等により劣化や変色を招く場合があります。

○車イスを使用する場合

車イスの繰り返し使用や、車イス自体の材質・形状などの条件によっては、表面にキズや汚れが付くことがあります。屋外でご利用になった車イスを乗り入れると付着した土砂で、床表面に傷が付くことがありますので土砂をはらってください。

3 材料の特徴としてご理解頂きたい現象

○退色・変色などの経年変化

床材を長く使用していると経年変化により退色したり変色したりすることがあります。光や熱があたる部分とあたらない部分で色合いに差が生じることがあります。

4 施工前のご注意

○製品の確認

梱包ケースに記載の品番、数量などを確認し、貼り付けを開始してください。またタイルの裏面の矢印で流れ方向をご確認ください。方向が変わると色相差のように見えることがあります。

○施工をする部屋の温度に慣らしてください

貼り付けを行う1日前から製品を置いて十分なじませてください。

○保管の際は、平坦な場所で平置きしてください

製品を保管する際は、平坦な場所で平置きし、6段以上積まないで下さい。不陸のある床の上に保管すると歪みや癖が発生し、仕上がりが悪くなります。直射日光の当たる場所での保管は避けてください。

5 施工する上でのご注意



注意

⊗ホコリや汚れ、ワックスが付いたままで、貼り付けをしないでください

下地に汚れ等があると、十分な接着強度が得られないため汚れを取り除いてください。

⊗施工する床面に段差や床鳴りがないことを確認してください

床面の段差は0.5mm以内とし、段差がある場合はカンナ、サンドペーパーなどで平滑に調整してください。(0.5mmは名刺1枚分が目安になります)
下地の影響等で製品が浮いてしまうような場合は、接着剤が硬化するまで、重しを置く等の対応が必要です。

⊗扉を開閉する場所がある場合は、扉の下と床面に最低5mm以上のすき間がある事を確認してください(5mmは100円玉3枚分が目安になります)

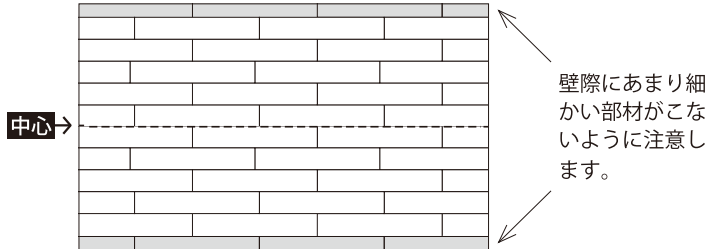
6 施工方法

① 下地の準備をする

掃除機や雑巾を使い、床面のホコリや汚れをきれいに取り除いてください。ワックスが付いている場合は除去してください。

② 割付・墨出し

部屋の中心を目安に壁方向へタイルサイズに合わせ割り付けます。
・中心部分に墨壺を使って墨出しをおこないます。



③ 接着剤の使用法の確認

接着剤は施工環境に合わせ、標準塗布量、オープンタイム、および貼り付け可能時間を守る事が重要です。

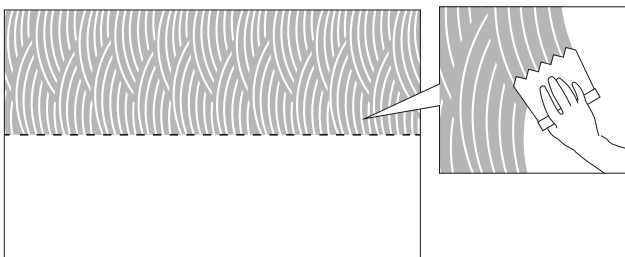
必ずご使用される接着剤の施工要領をご確認ください。

※下地の目地などへの入り込みにより、塗布量が多くなる場合があります。

※東リ（株）「エコAR600」推奨

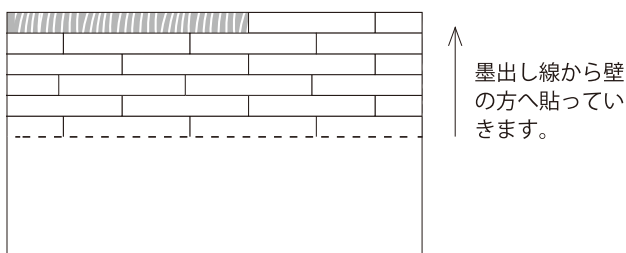
④ 接着剤の塗布

墨出し線から半分づつ塗布してください。付属のくし目ごてを使用し、接着剤がくし目状になるようくし目を立てて塗布してください。フローリング等に目地がある場合は、接着剤で埋めるようにしてください。



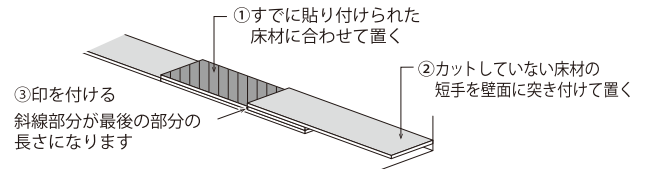
⑤ 製品の貼り付け

柄を同一方向に合わせながら、墨出し線を基準に壁方向に向かって貼り始めます。残りの幅が1枚分より短くなるまで敷き詰めます。



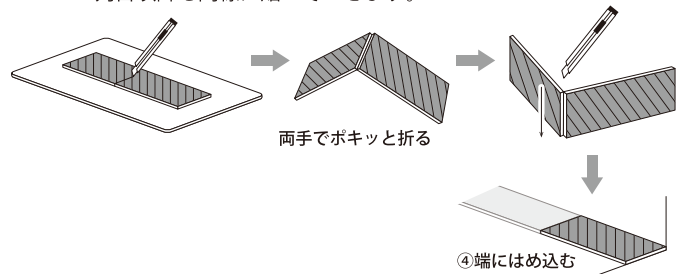
⑥ 端のカット方法(長手方向 最後の貼り付け方)

最後から2枚目に、カットする新しい製品をピッタリ重ねて置きます(①)。その上にガイドとなる新しい製品を壁側の端に突き付けて置きます(②)。重なった部分にカッターで印を付けます(③)。



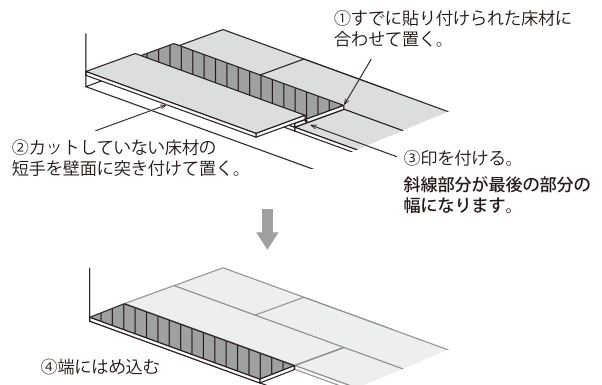
製品のカット方法

カッティングボード、または製品に同封されている型紙を下敷きにして、2〜3回カッターで切り込みを入れます。切り込んだ箇所を中心に両手で曲げ、折れた部分をカッターでカットし壁側にはめ込みます。(端に15cm以下のものがこないように注意してください) 2列目以降も同様に貼っていきます。



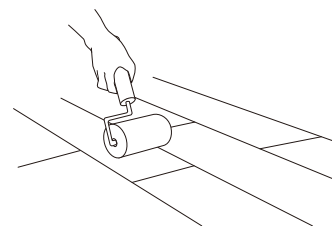
⑦ 端のカット方法(短手方向 最後の貼り付け方)

最後から2枚目にカットするガイドとなる新しい製品を壁側の端に突き付けて置きます。重なった部分にカッターで印を付けます。⑥ 製品のカット方法と同様にカットし、壁側にはめ込んでいきます。



⑧ ローラー掛け

貼り付け後は必ず上から床材用圧着ローラーで圧着してください。圧着が不十分の場合は接着不良が起こったり、タイルの表面にくし目跡が出る場合があります。



⑨ 養生

接着剤が完全に硬化するまでは極端な負荷や温度変化を避け、養生シートなどで床面を保護してください。

7 床暖房施工について

床暖房は使用時の温度変化によって、下地の伸縮、床材の伸縮、水分の変化等が通常より発生しやすくなります。そのため、本製品においても目地の隙間、突き上げ、床材の剥離または膨れ等の不具合が発生する恐れがあります。床暖房の仕上げ材として使用するためには、下地づくりをきっちり行う事が重要です。施工前に下記の注意点をお守り頂き施工をして頂きますようお願いいたします

施工前に確認する注意点
下地 ・下地は基本的に平坦で強度があり、湿気が少ないことが必要です ・不陸（1mで高低差2mm以下）、段差（0.5mm以下）を目安に平滑で仕上がっているか、クラック・隙間などがないか確認してください ・きしみやたわみがないか確認してください。きしみ・たわみがあると接着剤の接着力を阻害し、剥離や浮き等の要因となります ・下地が悪い場合は予め下地補修をしてください ・高周波水分計を用いて、下地含水率が、8%以下であることを確認してください。湿気の影響により臭気の発生や接着力の低下、それに伴う目地隙、剥がれ、膨れ、突き上げなどの減少が生じる可能性があります ・下地に接着剤、油脂類、ワックス、グリス、塗料等の汚れが残っていると、接着不良や汚染の原因になりますので、除去してください
パネル型床暖房 ・下地材は動きの少ない合板基材の木質フローリング材・合板（12mm厚以上）に限ります ・動きの大きいパーティクルボード、MDF基材の木質フローリング材への施工は避けてください ・下地材に段差（0.5mm以上）があれば、サンダー等で段差を削り平滑にしてください ・隙間（0.3mm以上）があれば、エポキシ系パテで下地補修をしてください
コンクリート埋設型床暖房 ・十分な事前加熱をし、下地水分率8%以下にしてください ・補修箇所の確認及び平滑性の確認をして頂き、クラックの段差はサンダーで削ってください ・部分的に床暖房が施工されている場合、床暖房下地表面と床暖房の施工されていない下地表面の温度差を15℃以下になるようにしてください
その他 ・ご使用になっている床暖房本体の取扱い説明書の指示に従ってください
施工後に確認する注意点
・施工後2日間は、施工の温度を保った状態で養生してください。また接着剤が完全に硬化するまでは、極端な負荷や温度変化をさせないようにするとともに、直射日光・水洗い・重量物の走行等も避けてください ・完全硬化時間後、接着不良（剥がれ、突き上げ等）がないか確認してください。床暖房の運転は、接着剤が十分硬化した後に行ってください（目安として冬期：7日間、春秋期：3日、夏期：1日程度） ・床暖房接地面に家具及び敷物など断熱性の高いものが床に置かれ長時間熱が閉塞するような環境では、ビニル床タイルに支障をきたす場合がありますので施工後のご使用にも配慮願います ・接着剤の硬化後、必要に応じてワックスかけをおすすめします

8 日常のお手入れについて

本製品を美しく保つためには、日常のお手入れが重要です。基本的にワックスを塗布する必要はありません。ただし、より汚れや傷をつきにくくするためにワックスを塗布することができます

○ 日常のお手入れ

掃除機や固く絞った雑巾で床のゴミやホコリの汚れを取り除いてください。

○ ワックス掛け

ビニル床タイル用の樹脂ワックスをモップや雑巾に浸して軽く絞り、床に2～3回塗布します。タイルの継ぎ目部分の隙間にワックスが入らないようにしてください。

9 廃棄上のご注意

本製品（樹脂：ポリ塩化ビニル）を廃棄する際は、法律及び地方自治体の規制に基づき適正に処理してください